

第31回種子交換会（2014－15年）のご案内

東京山草会 種子交換委員会

- ・今年も例年のように「種子交換会」を実施します。何とか充実した種子交換会を成功させたいと思います。多数の皆様のご参加とご協力をお願いします。
- ・今年も例年のように「種子交換会」を実施します。何とか充実した種子交換会を成功させたいと思います。多数の皆様のご参加とご協力をお願いします。
- ・種子リストは昨年から引き続いての新分類（APGⅢ）の固定番号制で、種子名と番号の関係が固定しています。
- ・交換会は種子提供者によって成り立っています。多くの方が種子を提供して下さることを切望しています。

1. 参加資格：①東京山草会の会員、②種子交換会に参加したことがある団体・個人（これまで種子交換会に参加されていなかった団体で全日本山草会連絡会に参加されていた会も含む）③その他、種子交換委員会で認めた団体・個人。

2. 参加申し込み方法

- ・①の東京山草会の会員は、全員参加申込済みとして種子リストを配布します。
- ・②の場合は、種子を提供した方（団体）は自動的に参加申込み完了とします。
- ・種子を提供しない人（団体）が種子を希望する場合には、「一般参加」の申込が必要です。（申込方法は後記）

3. 種子提供者優待

- （1）最優待メンバー：種子を15種類以上（各3袋以上）を提供の人（または加盟団体）、海外提供者→種子を最優先で配布します。
- （2）優待メンバー：種子を3種類以上14種類以下（各3袋以上）提供の人（または加盟団体）→①の最優先に次いで種子を配布します。

4. 対象種子（球根、ムカゴ等を含む）

- （1）国内・国外の山野草の種子で、今年採取の、山野草栽培に適したもので、保存方法等（別紙1参照）が適切なもの。（昨年の種子提供期限後に採取した種子もOKです。）
- （2）いわゆる「園芸植物」の種子は、ご遠慮下さい。
- （3）貴重な種子や人気度の高い種子の提供を期待しています。提供された場合、配布の際に、そのかたの優先度が高くなります。

5. 対象外（受付しない）種子

- (1) 法律で禁止されているもの：禁止されている種はホームページに掲載します。また、お問い合わせいただいても結構です。ほとんどの種類は交換会の対象です。絶滅危惧植物も、ハナシノブ、アツモリソウ、キタダケソウその他多くの種がOKです。
- (2) 完全な雑草（どこにでもあるもので観賞価値がないもの）
- (3) 外来種で、はびこって困るとされているもの（特定外来生物に指定されている植物、例えばオオハングウソウ等）、その他問題ありと指摘されたことがあるもの（タカサゴユリ）についても、対象外とします。
- (4) 基本的に、ほっておくと、いくらでも増えて、駆除が難しいものは、交換会の対象外と考えてください。

6. 種子提供の期間 10月15日（水）～11月15日（土）（消印有効）

期限内に種子の発送ができない場合には、提供リストだけでも送って下さい。特に、団体の場合、連絡や取りまとめに時間がかかると思いますが、少なくとも提供リストは送ってください。必ずメ切は厳守してください。遅れた場合は余剰種子分譲にまわります。

7. 種子の提供方法

- (1) 精製した種子を、後記の方法に従って、分包して種名、提供者名を記入し、別に提供種子リストに記入し、期限内に送付してください。
- (2) 種子の提供リストだけを先に送った場合でも、完熟種子を12月15日までに送ってください。（それでも完熟しない場合は、連絡ください。）
- (3) 期限までに提供種子（提供リスト）を発送しなかった場合は、種子交換リストに掲載できません。また、提供された種子は余剰種子とし、余剰種子の分譲に回します。また、配布時の優待の扱いはできません。ご協力をお願いいたします。
- (4) 提供種子の受付開始は10月15日です。受付開始後、できるだけ早く送付を！

毎年、種子交換リストの作成に大変な時間を要しています。パソコン入力だけでも、延べ100時間以上かかっています。締切日付近の日に集中することを避けたいので、できるだけ早く送って下さい。

8. 種子の申込み方法、配布数、配布順序など

- (1) 詳細は12月5日発送予定の「種子リスト」でご案内いたします。

- (2) 前回実績配布袋数：最大30袋
- (3) 最優待メンバーおよび優待メンバー（種子提供者）には、ご希望種子を5袋まで優先的に配布します。その際、最優待メンバーへの配布が終了してから、優待メンバーへの配布を行ない、その後一般メンバーに配布します。なお、団体の提供数が多い場合には配布袋数を多くします。
- (4) 受付順は、リスト到着日と種子申込書の発送日を基準とします。
（優先順を早くしようと、速達で送る方がいますが、その必要はありません）
- (5) 申込書の所定欄へリスト到着日と種子申込書の発送日を記入してください。

9. 全体スケジュール（現在の予定です。変更の可能性もあります。）

- 10月15日 種子提供受付開始
- 10月25日 一般メンバー（種子配布のみ希望）参加申込受付開始
- 11月15日 提供種子受付締切（消印有効）、種子リスト作成開始
- 11月23日（日時未確定）種子区分、番号記入、種子リスト作成（ボランティア募集）
- 11月25日 一般メンバー申込受付締切
- 12月03日 種子リスト作成完了
- 12月05日 種子リスト発送
- 12月17日 希望種子申込締切（消印有効）
- 12月23日（日時未確定）種子発送（ボランティア募集）

10. 種子の採取方法、保管方法、精製方法→（別紙1を参照して下さい。）

- (1) 精製して、シイナ、殻、ごみを取り除いた種子を送って下さい。
- (2) キク科は自家受粉しないものが多く毎年シイナが多いのでご注意ください。
交雑していたと連絡も入っています。
- (3) 保管中のカビ発生にもご注意ください。

11. 種子の分包方法（別紙2、3、4を参照してください）

- (1) 乾燥禁物の種子は、チャック付きのビニール袋へ入れてください。その他の種子は、紙またはチャック付きのビニール袋へ分包してください。
- (2) 1袋の種子の量は、多くても3～4号鉢への播きつけ量の2回分を目安としてください。分包した種子の量が多すぎると、こちらで再分包する手間がかかってしまいます。
- (3) 種子が多量の場合、分包は1種10袋までとし、残りは分包せずに大袋のまま提供をお願いします。（神代植物公園での販売用などのため、こちらで担当者が分包します。）

- (4) 貴重種の種子は少量でも歓迎します。
- (5) 精製、調製した種子を別紙に記載した方法で包み、袋ごとに種名、提供者名を記入してください。
- (6) 種名は正式な和名、学名で記してください。通称、俗名、販売店などで勝手に付けた名前はできるだけ避けてください。(種名の調べ方については別紙(1)を参照してください。)
- (7) 冬眠中の小球根類(サギソウ、ウチョウラン、原種球根類)は、郵送時につぶされないように、小さなタッパーケース、厚手のボール箱、写真フィルムのケースなどのしっかりした容器に入れてください。
- (8) コバイモ各種、フクジュソウ各種、セツブンソウ、ミスミソウ、カタクリなど、採り播きが特に好ましい種子は、来年春の交換会に配布することにいたしたいと思います。従って、今までの交換会で行っていた「予約扱い」を廃止したいと思います。
- (9) テンナンショウ類の果実は、提供期限内ではまだ赤くなりませんが、赤くなっていないものでも、自然に追熟するのでOKです。果皮を剥がさずに提供して下さい。大きさはマッチ棒の先より少し大きいものでもOKです。
- (10) 水分がテンナンショウ類の種子と似た種子は果皮を剥がさずに提供してください。(例えばヤマシャクヤク。)果皮を剥がさず、しかもあまり乾燥させないほうが、寿命が長く、発芽率も高いようです。
- (11) 水分の多い漿果・液果(例えばキイチゴ類など押すと簡単に潰れるもの)は水洗いして種子を取り出して、乾燥しないように、僅かに濡らしたキッチンペーパーなどで包んで、チャック付きのビニール袋に入れ冷蔵庫で保管して、そのまま提供してください。
- (12) 高齢などの理由で、精製や分包が困難な方の場合、例外として未精製の大袋での提供も受け付けます。
- (13) 全部の種子袋に種名と提供者名を記入してください。
- (14) 種名の間違いは、種子交換委員会でチェックすることが難しいので、確認して記して下さい。前回も間違いが10点近くあり、播種した方から、「別のものが生えてきて、がっかりした」と、ご指摘がありました。
- (15) 1種類ごとに輪ゴムでひとまとめにしてください。
- (16) 同封した「提供種子一覧表」にも記入し、(パソコン入力した場合には、打ち出して)種子と一緒に送って下さい。
- (17) 分包用紙が、同封したもので不足する場合には、西田まで連絡ください。ただし、適当な無地紙を切断して使用していただいても構いません。

1 2. 種子提供一覧表の記入方法 (パソコン入力時と同じ)

- (1) 種名は標準和名または学名のどちらかを記載して下さい。和名はできるだけ正式なものを記入してください。大手の種苗業者が俗名を付けたものは、その業者へ問い合わせれば、正式名や学名を教えてくれることがあります。
- (2) どうしても正式名が不明なものも、一応受け付けます。その場合、できるだけ写真や形状についてのメモを添付して下さい。委員会のほうで正式名を調べますが、それでも不明の場合には、種子リストの末尾に「？」つきで名前を掲載したり、場合によっては種子リストに掲載しないこともあります。たとえば「サンジソウ」の名で提供されたことがありました。しかし「サンジソウ」とよばれているものは3種類あり、提供されたものが、どれであるか不明でした。
- (3) 採取場所は、野生株から採種した種子の場合にだけ記して下さい。
- (4) 提供者コメント欄には、特徴（特別な形状、希少性、等）を記載していただければ、パソコン作業や記載スペースで許されるかぎり詳しく、種子リストに記載します。写真も送っていただければ、リストにはコストや手間の点で掲載できないのですが、当会のホームページに掲載する予定です。写真は、メール添付で送っていただいてもOKです。
- (5) 一般的特徴の欄には、花色、開花時草丈について、普通に知られているものでも、なるべく記入して下さい。種名の間違いを防ぐためと、栽培条件による草姿の違いの参考に供するためです。
- (6) パソコンで提供種子リストを作成して、メールに添付して、末尾に記したアドレスに送信していただければ、パソコンへの入力手間が大幅に減るので非常に助かります。

1.3. 種子と種子提供一覧表の送付先

- (1) 種子・一覧表等の送付先（ご注意ください。）

- ・東京山草会の会員

〒223-0053 横浜市港北区綱島西 6-7-16-401 西田和憲

- ・その他の方

〒270-0035 松戸市新松戸 南2-1-16 秋本靖匡

- (2) 郵便封筒に「第4種農産種苗」と朱書きし、開封にすれば、封筒サイズに制限がなく、また写真フィルムのケースのような厚いものでも低料金で送ることができます。小さな段ボール箱のように箱状のものでも、送ることができます。（50gまで72円、75gまで110円、100gまで130円、1kg程度までは、同一重量の普通郵便より10～40円安い）。宅急便で送るよりかなり安価です。
- (3) 種子リスト返送用の封筒および切手を同封する必要はありません。

1 4. 一般メンバー（種子を提供しないが、種子の配布を希望する方・団体）の申込方法

- (1) 適当な紙に「一般メンバー参加希望：住所、郵便番号、氏名、所属山草会、発送日」を記し、参加費用として52円切手10枚を同封して、下記の受付担当へ送付してください。種子リストを送ります。

宛先：〒223-0053 横浜市港北区綱島西 6-7-16-401 西田和憲

1 5. ボランティアの募集

- (1) 種子リスト作成のパソコン作業

自宅でできる作業です。エクセルを使用し、種子提供リストに記載された内容を、所定の形式の種子リストに入力します。ただし、データベースを使用して入力するので、文字全部を入力するのではなく、種名と学名の欄は、データベースに記載されているものから選択する方法です。期間は11月1日から12月03日です。大して難しくはありませんが、具体的な方法は電子メールで連絡します。入力していただいたものは、電子メールに添付して送っていただくので、電子メールが可能であることが条件です。エクセル互換のフリーソフトでも、OKです。(MacでもOKです。)数名のかたを募集しています。参加された方には種子配布の優遇扱いをいたします。

- (2) 種子区分け、リスト作成作業

- ・日時：2014年11月23日（休日） 午前9時～午後6時
- ・場所：新宿消費生活センター分館（電話 03-3205-1008）
高田馬場駅から徒歩5分。変更の可能性あり。
- ・区分け、番号付け、リスト作成等種子交換委員、担当者総出で作業します。
- ・上記の時間帯のうち都合のよい時間の短時間でも結構ですので、多くの皆様の参加をお願いいたします。参加された方には種子配布の優遇扱いをいたします。

- (3) 申込種子の封筒詰め、発送。

- ・日時（未確定）：2014年12月23日（休日）午後9時～午後6時
- ・場所（未確定）：新宿消費生活センター分館
- ・上記①同様に作業します。多くの方のご参加をお願いいたします。参加された方には種子配布の優遇扱いをいたします。

1 6. 連絡先、問い合わせ先

西田か秋本へ、郵便、FAX，メールで問い合わせてください。電話は、不在のことが多いので、ご容赦ください。

メールアドレス：kaz-tokyoseed@f03.itscom.net (西田)

FAX：047-343-5819 (秋本のみ)

メールアドレス：AGSTakimoto@gmail.com (秋本)

(以上)